

**授業概要**

心身の変化が大きい児童期から青年期にかけての発達の諸相について講義する。児童・青年期の心理学的特徴に加え、この時期に直面する問題や課題について、生物学的、個別的、社会・文化的な視点から概説する。学校適応や学習意欲の問題、友人関係やいじめ、メディアやインターネットの影響など、現代社会において児童・青年を取り巻く問題についても取り上げる。また、児童・青年期のメンタルヘルスや発達障害に対する知見と支援方法についても触れる。本授業を通して、受講生は実際の人間理解や現場の支援に結び付けられる実践的な知識を身につけることを目指す。さらに青年期にある自分自身についても理解を深める機会として活用することを期待する。

**授業計画**

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 第 1 回  | ガイダンス：授業の目的と概要について             |
| 第 2 回  | 生涯発達における児童・青年期の位置づけ            |
| 第 3 回  | 児童期の発達①：身体的・認知的発達              |
| 第 4 回  | 児童期の発達②：社会性と情動の発達              |
| 第 5 回  | 青年期の発達①：身体的・認知的発達              |
| 第 6 回  | 青年期の発達②：アイデンティティ形成             |
| 第 7 回  | 児童青年期における家族や親子関係               |
| 第 8 回  | 児童青年期における対人関係                  |
| 第 9 回  | 現代社会と子ども①：学校適応や不登校問題の理解と支援     |
| 第 10 回 | 現代社会と子ども②：いじめ問題の理解と支援          |
| 第 11 回 | 現代社会と子ども③：メディアやインターネット問題の理解と支援 |
| 第 12 回 | 児童青年期のメンタルヘルス                  |
| 第 13 回 | 発達障害の理解と支援                     |
| 第 14 回 | キャリア形成：時間的展望の視点から              |
| 第 15 回 | まとめ                            |
| 第 16 回 | 定期試験（筆記試験）                     |

**到達目標**

1. 児童青年期の発達に関心を持ち、授業を通して身に着けた知識を自らのことばで説明できる。
2. 児童青年期に見られやすい諸問題について理解し、自らのことばで説明できる。
3. 青年期にある自分自身の自己理解を深めることができる。

**履修上の注意**

- ・毎回の授業でリアクションペーパーの提出をしてもらうため、積極的に感想や質問を記入してください。
- ・授業の内容によって、グループディスカッションやグループワークを行います。
- ・授業中の私語やスマホの利用は禁止します。

**予習・復習**

- ・授業の資料は事前にオンライン上にアップします。各自、授業前に必ず目を通しておいてください。関連するトピックやわからない点は事前に調べておきましょう。
- ・授業内容はしっかりと復習し、知識として定着させることを意識してください。

**評価方法**

授業への参加態度やディカッションやワークへの参加状況（20%）、リアクションペーパーの内容（20%）、定期試験（60%）の結果を総合的に評価する。

**テキスト**

テキストは使用せず、配布資料を使用します。参考資料は必要に応じて講義内で紹介します。